

令和6年度 金光大阪中学校・高等学校 学校評価報告書

1. めざす学校像

建学の精神	「人はみな神の氏子である」という金光教祖の広大かつ自然な教えにもとづき、すべての人に与えられている個性を生かす教育の場を願う
教育理念	「人間平等」「個性尊重」「心を育む」教育の実践 朝の祈りの成就 <朝の祈り> <ul style="list-style-type: none">・限りない天地のみ恵と 父母をはじめとする人類社会の恩恵に 深い感謝と喜びの心をもたせてください。・心身ともに健やかに 礼儀と規律を重んじ より良き習慣を身につけさせてください。・新たなる勉学への意欲をもって 真実を学び求め 大切なところを分らせてください。・共に思いやり、助け合い、信じ合って、明るく豊かな学校生活を送らせてください。・どんなに辛い苦しいことに出会っても 負けることなく元気な心で生き抜く力を与えてください。・人、物、時間を大切にし 少しでも世と人の助かるお役に立つ人間にならせてください。

2. 中期的目標

☆ 教学計画
1. 豊かな人間性の育成 建学の精神に基づき、「人間平等」「個性尊重」「心を育む」教育の実践 ア. 建学の精神に基づき、教育の主軸として、「人間平等」「個性尊重」「心を育む」を掲げ、宗教情操教育をはじめとする学校教育全般を通じて、互いの個性を認め、支えあう人間関係を作る イ. いじめ問題、差別問題、SDGs問題を生徒が自分の問題として考え、その解決を目指す力を育てる
2. 生徒の主体的な活動の推進と学校文化の醸成 ア. 学校教育全体を通して、自ら考え行動できる力を養い、自己肯定感を育む イ. 生徒会を中心とした学校行事の活性化 ※各行事終了後アンケートにおいて、「達成感」「満足感」項目 4.1 (75%) 以上を維持し、令和6年度には 4.2 (80%) 以上とする
3. 次世代を生き抜く確かな学力の育成とその成果としての実績作り ア. 学習成果が、生徒一人ひとりの進路の展望につながる授業を推進する イ. 自らの適性の把握と確かな人生観・職業観を持たせ、日常の教科学習への興味・関心を高める ウ. 希望進路、習熟度に応じた効果的な授業・講習の展開 エ. 生徒一人ひとりに寄り添った丁寧な進路・学習指導の継続 オ. 全てのことに一生懸命取り組む姿勢を育む文武両道の実践 ※生徒アンケート教科学習に対する「丁寧な対応」、「適切な授業レベル」、「教員の熱意」の肯定回答率 4.2 (80%) 以上、「向上への意欲」の肯定回答率 4.0(70%)以上を令和6年度に達成する
4. 「部活動に係わる基本方針」に則った部活動の推進 ア. 勝利至上主義に走らず、活動・経験を通じて各自のニーズに応じた豊かな学校生活の実現 イ. 生きる力の育成と心身にバランスのとれた人としての成長 ウ. 合理的かつ効率的・効果的な活動の推進 ※新入生の部活動加入率 80%、卒部率 90%以上としそれを維持していく
5. 異文化理解と多文化共生の考えを養う国際理解教育の推進 ア. 海外修学旅行・語学研修・1年留学・中学短期留学の再開及び充実
6. 教員の指導力の向上 ア. 自己研鑽を目的とした、研修会への積極的な参加と校内研究授業・公開授業の実施
7. 不登校生徒、学力不振による進路変更を生まない安心かつ楽しい学校づくり ア. 学年・支援室・保健室・スクールカウンセラーの情報共有

<p>☆ 生徒募集</p> <p>8. 募集定員充足維持を目指した広報活動の展開</p> <p>ア. 幅広い学力層の生徒に指示される魅力ある学校作り</p> <p>イ. 効果的な広報ツールの活用</p> <p>9. 生徒の姿を前面に出す各種学校説明会の実施</p> <p>ア. 高校入試専願率を更にアップさせ定員確保をめざす</p> <p>イ. 中学校入学者増加をめざす（英語試験の導入・特技特待継続・科学部の活性化）</p> <p>ウ. 部活動推薦の推進（各部活動による更なる募集活動）</p> <p>☆ 人事政策と人件費等の抑制計画</p> <p>10. 学園の採用基準に基づいた採用計画</p> <p>ア. 専任・準専任教員採用計画の実施</p> <p>イ. 物品購入や修繕等について必要性を精査</p> <p>ウ. 節約、節減の推進</p>
--

【自己評価アンケートの結果と分析・学校評価委員会からの意見】

<p>自己評価アンケートの結果と分析</p> <p>全教職員 118 名より 12 項目 27 指標の回答を得た。結果 27 指標中、昨年度より、「ややあてはまる」、「よくあてはまる」の肯定意見が昨年度（93.5%）より 2.8 ポイント上がり 96.3%と良い結果となった。内訳は 5 指標が 100%であり 21 指標が 90%を超える回答であった。また、昨年度 B 判定であった 10 項目の研修については、「よくあてはまる」、「ややあてはまる」が 84%の数値で A 判定であった。今後更に、各項目改善に努め「よくあてはまる」の肯定意見 80%以上を目指す。</p>
<p>学校評価委員会からの意見</p> <p>A 制鞆がバッグからリュックに変更になり、両手があくようになったのは良いが、荷物が少ない時のために、サブバックがあった方が良いのではないかと。夏の暑い時など、リュックだと背中がびしょりになってしまいます。</p> <p>Q 昔はサブバックがあったが、サブバックだけで登校する生徒が増え、制鞆のみになった経緯がある。リュックの値段は 1 万円を超えており、加えてサブバックとなるとかなり高価になる。安価なものがあれば検討する。</p> <p>A 研修は、日中に行われるのですか。</p> <p>Q 教育庁などの研修は平日の昼間（～17:00）に行われることが多い。授業を振替えていかなければならない。また、夏季休業中などに研修に行く先生もいる。オンラインでの研修も多くなってきている。</p> <p>A 先生方は有給休暇を取得できているのですか。</p> <p>Q できるだけ先生方には休みを取ってもらいたいが、現実はまだ厳しい状況にある。しかし、法定時数の有給休暇の取得は奨めている。</p>

3. 本年度の取組内容及び自己評価

中 期 的 目 標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
<p>教学計画 (豊かな人間性の育成)</p>	<p>ア. 互いの個性を認め、尊重しあう人間関係を作る。</p>	<p>ア. 建学の精神に基づき、教育の柱として「人間平等」「個性尊重」「心を育てる」を掲げ、学校教育全般において、互いの個性を認め、尊重しあう人間関係を築く。</p>	<p>ア. 学校が安心、かつ楽しい場所であることを再確認し、クラスメイト、部活動の仲間と良好な関係を築く。各自、校内で居場所があるようにする。また、学校生活アンケート 9 項目において「とても充実している」「充実している」と回答が 80%以上を目指す。結果、転退学を含む進路変更の減少に繋げる。</p>	<p>ア. 学校生活アンケート 9 項目の全体の回答平均値が肯定的な意見が 69%で、「普通」が 27%で昨年より若干ポイントが下がった。更なる改善を行いたい。(△)</p>

	<p>イ. いじめ問題、差別問題を一人ひとりの問題とし、その解決を目指す力を育成する。</p>	<p>イ. 年度始めの人権教育推進委員会において生徒への指導計画を作成。人権教育推進委員会やいじめ防止対策推進委員会を定期的に開催し、生徒にいじめ問題、差別問題、SDGs問題を一人ひとりの問題と考えさせ、その解決を目指す力を育成する。</p>	<p>イ. アンケート「いじめを受けた事がない」において、100%が「受けた事がない」と回答する。</p>	<p>イ. 昨年度のいじめ事案の報告件数は無し。今後もアンケートを通じて事前防止を心掛ける。(◎)</p>
<p>教学計画 (生徒の主体的な活動の推進と学校文化の醸成)</p>	<p>ア. 学校教育全体を通して、自ら考え行動できる力を養い、自己肯定感を育む。</p> <p>イ. 生徒会を中心とした学校行事の活性化。</p>	<p>ア. 生徒主体の学校生活を更に押し進め、企画力を養い、達成感を高める。また、それらをキャリアパスポートを用い振り返らせ自己肯定感を養う。</p> <p>イ. 上記ア. の実現のためにも、今まで以上に生徒会活動を活性化させ、学校行事を通して生徒の人的成長を図る。生徒文化を積み上げ、将来の学校文化、伝統をつくる。</p>	<p>ア. キャリアパスポートにおける主体的に取り組んだ項目を最低3項目/年以上挙げられるようにする。</p> <p>イ. 学校生活について、「文化祭」「学年行事」の充実度を向上させ、80%以上の達成感を目指す。及び一般公開を見据えた、質の高い文化祭の取り組み。また、生徒主体による更なる学年行事の充実を図る。</p>	<p>ア. キャリアパスポートから、殆どの生徒が自ら計画通り取り組んでいる。(◎)</p> <p>イ. 学校生活アンケートより肯定的な意見が81%と昨年度より9ポイントアップ。生徒会中心に更に各々のスキルを上げていく。(◎)</p>

教学計画（次世代を生き抜く確かな学力の育成）

ア. 学習成果が進路展望につながる授業を推進する。

イ. 自らの適性の把握と確かな人生観・職業観を持たせ、授業への興味・関心を高める。

ウ. 希望進路、習熟度に応じた効果的な授業・講習の展開。

エ. 生徒一人ひとりに寄り添った丁寧な進路・学習指導の継続。

オ. 全てのことに一生懸命取り組む姿勢を育む文武両道の実践。

ア. 授業・講習、部活動の時間を精査し、生徒自身がタイムマネジメントの中で自学自習の時間の確保を図れるようにする。また、自らの意志で創意工夫をしながら学び続ける姿勢を養うため、自習室をはじめ、校内での自学自習環境を整え、授業との有機的な連携を図る。LSコースにおける高大連携の充実。

イ. 「すべての人に与えられている個性を生かす教育の場を願う」という建学の精神に基づき、学校教育活動全般に亘ってキャリア教育を行う。自らの適性の把握と確かな人生観・職業観を持たせ、教科学習への興味・関心を高める。

ウ. 本年度も、スタディサプリを導入し、更なる学習習慣の確立、すき間時間をより充実させ、進学意欲を高める。また、その取組み状況の把握を行い、学習指導に活用する。学習意欲の高い生徒に対して、早朝・放課後の進学講習を実施し、さらに学力を伸ばしていく。進路に関しては、関西有名私立大学合格者数増加のプロジェクトを進める。

エ. 定期的な面談に加え、日常的に生徒への進路・学習指導を行う時間の確保をする。

オ. 学習面・部活動面ともに限られた時間を有効に使い、各々の目標が達成できるように教員が適切な指導を心掛ける。

ア. 学習習慣の確立。及び生徒アンケート「授業への集中」項目の肯定回答 4.2(80%)以上。LSコースの希望者の一定数(40名)の確保を目指す。高大連携(関西福祉大学)し、授業内容の充実を図る。また、LSコース初年度の進路を保障する。

イ. 生徒アンケート各教科に対する「興味・関心」の項目において肯定の回答が全科目平均 4.2(80%)以上。

ウ. スタディサプリ導入に伴い、生徒アンケート「家庭学習をしていましたか」に関する項目の肯定回答 4.2(80%)を目指す。

エ. 生徒との二者面談を毎学期2回以上行い、希望進路と学習状況を確認する。アンケートからは「丁寧な対応」4.2(80%)以上、「向上への意欲」の肯定回答率 4.0(70%)以上。

オ. 学校生活アンケートの「進路指導」、「部活動」について「とても充実している」、「充実している」の肯定回答が80%以上を目指す。

ア. 授業アンケートより「授業への集中」は中学校 4.4、高校 4.5 と高い数値を示している。LSコースの進路実績も良好である。(◎)

イ. 授業アンケートによる「興味・関心」は中学 4.1、高校 4.2 と昨年より 0.1 ポイントアップしている。(○)

ウ. 授業アンケートにより「家庭学習」に「ついては、中学 3.8、高校 4.0 と昨年度より 0.1 ポイントアップしており、高校は目標値に達している。(○)

エ. アンケートから「丁寧な対応」は中高とも 4.6 と高い数値を示している。また、懇談も定期的実施している。(◎)

オ. 肯定回答は 72%と昨年よりややダウン。(△)

<p>則した部活動の推進) 教学計画(部活動に係わる基本方針)に</p>	<p>ア. 勝利至上主義に走らず、活動・経験を通じて豊かな学校生活の実現を目指す。 イ. 合理的かつ効率的・効果的な活動の推進。</p>	<p>ア. 体育系、文科系に関わらず、部活動に加入し3年間で得る目的意識を明確に持ち日々活動に参加することを心掛ける。また、お互いの人間関係も良好に保ち、人間的成長を心掛ける。 イ. 時間を有効に使い、学習面との両立を心掛ける。</p>	<p>ア. 新入生の部活動加入率を80%、卒部率90%以上を目標とする。 ・文化系部活動の部員増加を目指す。及び活動の活性化。 イ. 部活・学習の両方の目標結果を大切にする。</p>	<p>ア. 新入生の部活動加入率は78%。卒部率81%。文化系部員数は42名ダウン。(△) イ. 部活動の目標達成感は各々異なるが、進路実績については良好。(○)</p>
<p>方を養う国際理解教育の推進) 教学計画(異文化理解と多文化共生の考え</p>	<p>ア. 異文化理解と多文化共生の考え方を養う国際理解教育の推進。</p>	<p>ア. 高校修学旅行、中学 NZ 短期留学、語学研修などの海外プログラムを通じて、英語学習への動機付けを行う。英語技能検定対策講座などのプログラムの充実を図り、学校全体として「使える英語力」の向上に努める。また、英検受験率をさらに上げる。</p>	<p>ア. 物価高騰・円安に伴いカナダ修学旅行をオーストラリアに変更。オーストラリア語学研修をカナダ語学研修に変更。各プログラムのアンケートによる「充実度」の回答を80%以上目指す。</p>	<p>ア. アンケート結果から「充実度」は79%の結果。より内容の充実の検討。英検受験者318名(○)</p>
<p>教学計画(教員の指導力の向上)</p>	<p>ア. 教員の指導力向上。</p>	<p>ア. 教員自身の指導力向上のため、各々校外での研修会への積極的な参加及び各教科で研究授業を行い教師としての力量を高め、資質向上に努める。</p>	<p>ア. 学校評価アンケートの指標をA評価にする。 また、各教科において研究授業を実施。「授業の工夫」、「話し方の良否」、「教材の工夫」に関する項目の肯定回答それぞれ4.2(80%)以上を目指す。</p>	<p>ア. アンケートの結果全ての指標でA評価を得る。「授業の工夫」に関する肯定回答も中学4.1、高校4.6の数値がでた。(○)</p>
<p>進路変更を生まない楽しい学校づくり) 教学計画(不登校・学力不振による</p>	<p>ア. 不登校生徒、学業不振による進路変更を生まない安心かつ楽しい学校づくり。</p>	<p>ア. 学年を中心とし、不登校生徒、学業不振生徒の情報を保健室・支援室・スクールカウンセラーで共有し転退学の防止に努め卒業後の進路保証に繋げる。</p>	<p>ア. 入学した生徒に関しては、卒業後の進路保証を含め「面倒見の良い金光大阪」であることを心掛け、「丁寧な指導」が行われている肯定回答が4.2(80%)以上を目標とする。また、93%以上の卒業率を目指す。</p>	<p>ア. アンケートの結果「丁寧な指導」の肯定回答は中学4.6、高校4.6の高い数値を得た。卒業率は93%(◎)</p>

<p>生徒募集 (募集定員充足を維持を目指した広報委活動の展開)</p>	<p>ア. 募集定員充足維持を目的とした広報活動及び入試制度の見直し。</p> <p>イ. 効果的な広報ツールの活用。</p>	<p>ア. 学校説明会、オープンスクールを通じ、魅力ある学校を理解してもらえる広報活動の実施。</p> <p>イ. LS コースを通じて関西福祉大学との連携をより深め、大学各部の宣伝を効果的に行い高校専願受験に繋げる。</p> <p>ウ. 中学入試において、受験者数増加のため、入学試験に英語を導入。従来通り特技特待を行う。校内の取り組みとして、水田学習を基本とした科学部の活動を活性化させる。</p> <p>エ. 高校入試に関して、定員確保のため専願受験者の増加を見据えた、他府県専願者入学生に対して入学金免除の制度を継続する。また、学習特待・部活動特待は従来通り行う。</p>	<p>ア. 昨年度を上回る各説明会・オープンスクールの参加者数を目指す。</p> <p>イ. 関西福祉大学への受験を見据えた高校入学者の増加を目指す。</p> <p>ウ. 中学募集は厳しい状況だが、一人でも多くの生徒が入学してくれるよう募集活動を行う。</p> <p>エ. 部活動推薦者数に関しては、概ね本年度入学者数(120名)以上を目標数とする。また他府県入学者数は30名を目標数とする。</p>	<p>ア. 中オープンスクール昨年度より-3名。高校オープン・学校説明会+56名。中学が課題。(○)</p> <p>イ. 関西福祉大学へ8名入学。(○)</p> <p>ウ. 中学入学者数20名。(×)</p> <p>エ. 部活動推薦入学者数112名。他府県入学者数20名(△)</p>
<p>学校説明会の実施 (生徒募集(生徒の姿を前面に出す各種))</p>	<p>ア. 高校入試専願率を更にアップさせ定員確保をめざす。</p> <p>イ. 中学校入学者増加をめざす。</p> <p>ウ. 部活動推薦の推進。</p>	<p>ア. 部活動推薦はじめ一般入試での専願入試を更に呼びかける。</p> <p>イ. 特技入試での募集強化及び説明会での進学実績のアピール。</p> <p>ウ. 各部活動推薦において、技術及び成績優秀生徒を獲得する。</p>	<p>ア. 専願受験を本年度より上回る人員確保をめざす。(300名)</p> <p>イ. 本年度より上回る人員確保をめざす。(30名)</p> <p>ウ. 本年度を上回る人員確保をめざす。(130名)</p>	<p>ア. 専願入学者数307名。(◎)</p> <p>イ. 入学者数20名、内特技特待制度2名。(×)</p> <p>ウ. 推薦人数112名。(○)</p>
<p>生徒募集 (学園の採用基準に基づいた採用計画)</p>	<p>ア. 専任・準専任教員採用計画の実施。</p> <p>イ. 物品購入や修繕等について必要性を精査。</p> <p>ウ. 節約、節減の推進。</p>	<p>ア. 本校の採用基準に基づき、教職員の働き方改革につながるよう、専任・準専任教職員の採用試験を実施する。</p> <p>イ. 物品購入については計画的に行い、判断については見極めを適切に行う。</p> <p>ウ. 無駄な電気・ガス等の使用を控える。</p>	<p>ア. 各学年団構成を中学7名、高校各学年18名を基本とし、働き方改革に繋がる人員構成及び人事配置を行う。</p> <p>イ. 前年度と比較し執行額の確認を行う。</p> <p>ウ. 前年度と比較し使用数値の確認を行う。</p>	<p>ア. 学年団構成中学7名、高校18名。(◎)</p> <p>イ. 教員用PC購入のため1,390万up。</p> <p>ウ. 昨年度比378万up改善必要。(△)</p>

<p style="text-align: center;">その他 (倫理 修繕等)</p>	<p>ア. 体罰、ハラスメントの防止。</p> <p>イ. 教育施設設備の改善・修繕等。</p>	<p>ア. ハラスメント相談窓口を設置し、健全な学校運営を心掛け、「安心した居心地の良い」学校づくりを目指す。事案が起こった場合は素早く対応する。体罰に関しては、会議等で根絶に向け指導を行う。</p> <p>イ. 全館トイレ便座交換及び設置。母校ふるさと納税制度の実施。</p>	<p>ア. 体罰、ハラスメント相談件数0件。</p> <p>イ. 本年度中に全館設置。ふるさと納税については、資料を確認し実施に繋げていく。</p>	<p>ア. 教員の体罰事案3件。二度と起こらないよう研修を行い再発防止に努める。(×)</p> <p>イ. 全館設置。ふるさと納税開設。(◎)</p>
---	--	---	--	---